2015年7月30日（木）
第96回 東京財団フォーラム
『東京財団ＣＳＲ白書2015』刊行記念
ジェフリー・サックス氏と考える持続可能な開発と企業の社会的責任

Sustainability Is “Business of Business”

有馬　利男

東京財団ＣＳＲ委員会 委員
富士ゼロックス株式会社　イグゼクティブ・アドバイザー
国連グローバル・コンパクト　ボードメンバー

Network Japan

1.0. MDGs と SDGs
1.1. ミレニアム開発目標（MDGs）概要

MDGs：8つの目標下、21のターゲットと60の指標を設定。
1990年を基準年として2015年が達成期限。

- 目標 1 極度の貧困と飢餓の撲滅
- 目標 2 初等教育の完全普及の達成
- 目標 3 ジェンダー平等推進と女性の地位向上
- 目標 4 乳幼児死亡率の削減
- 目標 5 妊産婦の健康の改善
- 目標 6 HIV／エイズ、マラリア、その他の疾病のまん延の防止
- 目標 7 環境の持続可能性確保
- 目標 8 開発のためのグローバルなパートナーシップの推進

1.0. MDGs と SDGs
1.2. 持続可能な開発目標（SDGs）概要

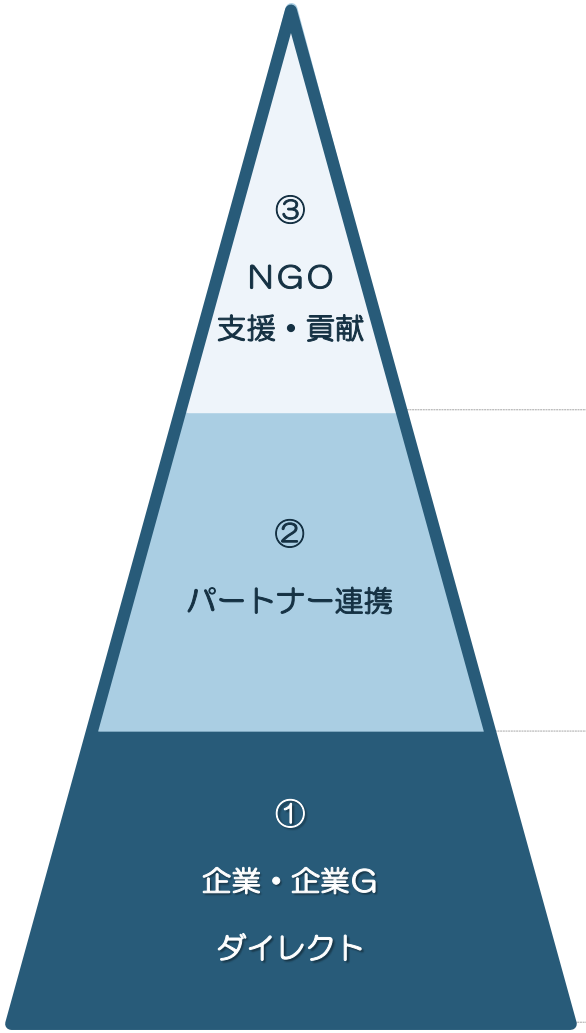
持続可能な開発目標

		MDGsとの対応
目標 1.	あらゆる形態の貧困の撲滅	①
目標 2.	飢餓の撲滅、食糧安全保障および栄養改善の実現と、持続可能な農業の促進	④ ①
目標 3.	健康的な生活の確保と福祉の促進	⑥ ④
目標 4.	公平な質の高い教育の提供と、生涯学習の機会促進	②
目標 5.	ジェンダー平等の達成、女性および女子のエンパワーメント	③ ⑤
目標 6.	水と衛生の利用可能性および持続可能な管理の確保	
目標 7.	安価かつ持続可能な現代的エネルギーへのアクセス確保	
目標 8.	包括的かつ持続可能な経済成長、完全かつ生涯的な雇用とディーセント・ワークの促進	
目標 9.	レジリエントなインフラ構築、持続可能な産業化の促進、およびイノベーションの拡大	
目標10.	国内および各国間の不平等の是正	
目標11.	安全かつレジリエントで持続可能な都市および人間居住の実現	
目標12.	持続可能な生産消費形態の確保	
目標13.	気候変動への緊急対策	⑦
目標14.	海洋資源の保全および持続的な利用	
目標15.	陸域生態系の保護・回復・持続可能な利用、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地の劣化の阻止・防止、生物多様性の損失阻止	⑧
目標16.	平和で包括的な社会の促進、司法へのアクセス提供、あらゆるレベルにおける効果的かつ包括的な制度の構築	
目標17.	グローバル・パートナーシップの活性化	⑧

2.0. SDGs と ビジネス
2.1. 企業のCSRとSDGs（例：富士ゼロックスの事例から）

SDGsとのつながり	リスクの回避〈活動事例〉		ビジネス・オポ（攻め）〈活動事例〉	SDGsとのつながり
		③ NGO 社会組織 支援と貢献		
1,2,3	● ボランティア·プロボノ		● 端数クラブ	1,2,3
	● 小林節太郎基金（奨学金）		● 途上国での教科書提供	4,5
		② バリューチェーン ビジネス・パートナー コラボレーション		
9,12	● EICC対応調達		● サプライ·チェーン マネジメント	8,17
6,7,13	● 水·エネルギー削減			
15	● 環境·生物多様性		● 地域医療情報システム	3
		① 企業と企業グループの 直接のエンゲージメント		
16	● コンプライアンス		● 顧客のESGをサポートする営業活動	12
9,11	● DRR・BCP		● リサイクリング事業	11,12
			● テレワーク·サポート事業	5,12

2.0. SDGs と ビジネス
2.2. 個別のイニシアティブ（GCNJの例示）



イニシアティブの例示

③ Team SDGs Village SDGs 4, 5

― 貧困・児童・教育をテーマにした
GK Village の展開

② Team SCM SDGs 5, 8, 12, 15, 16

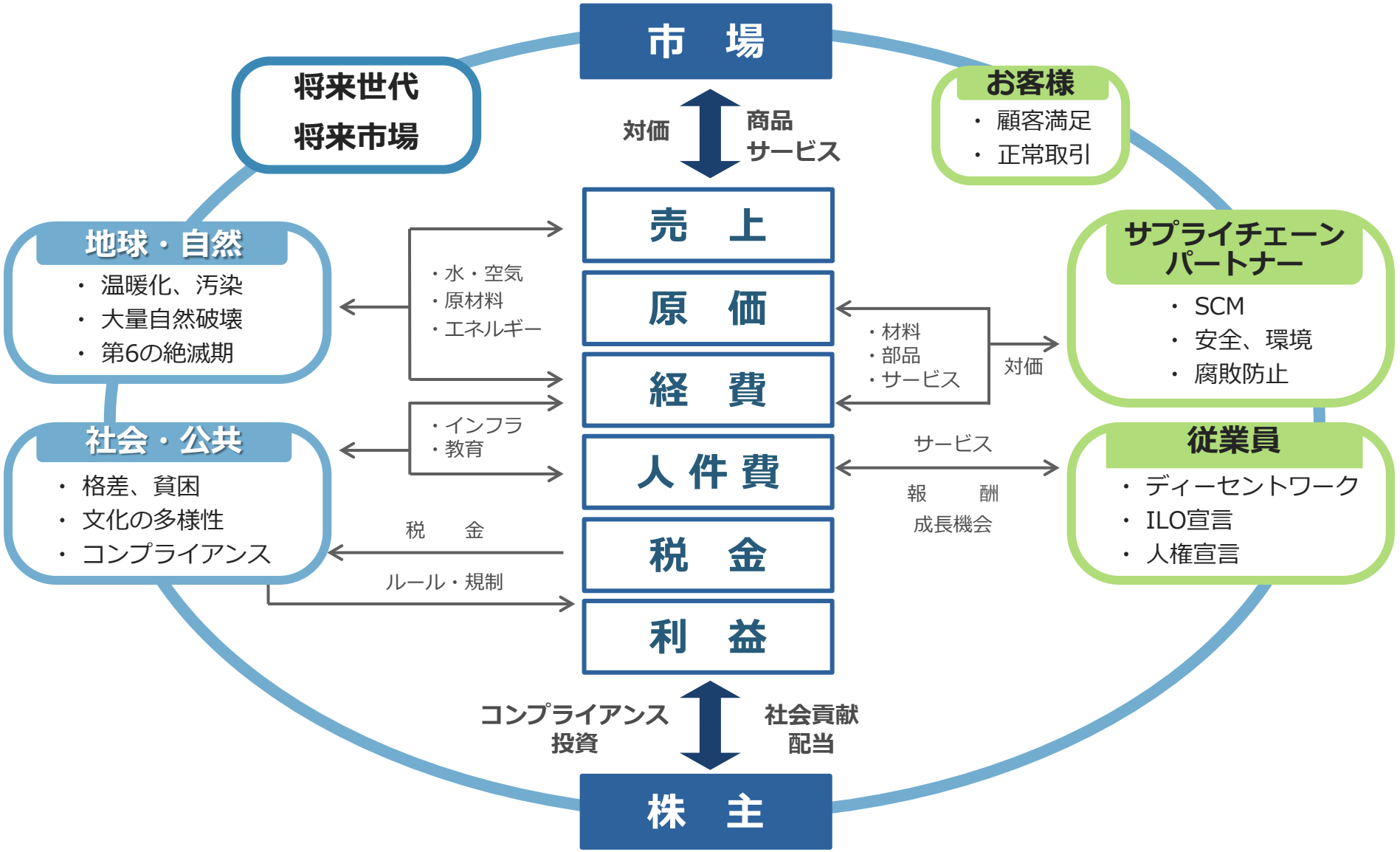
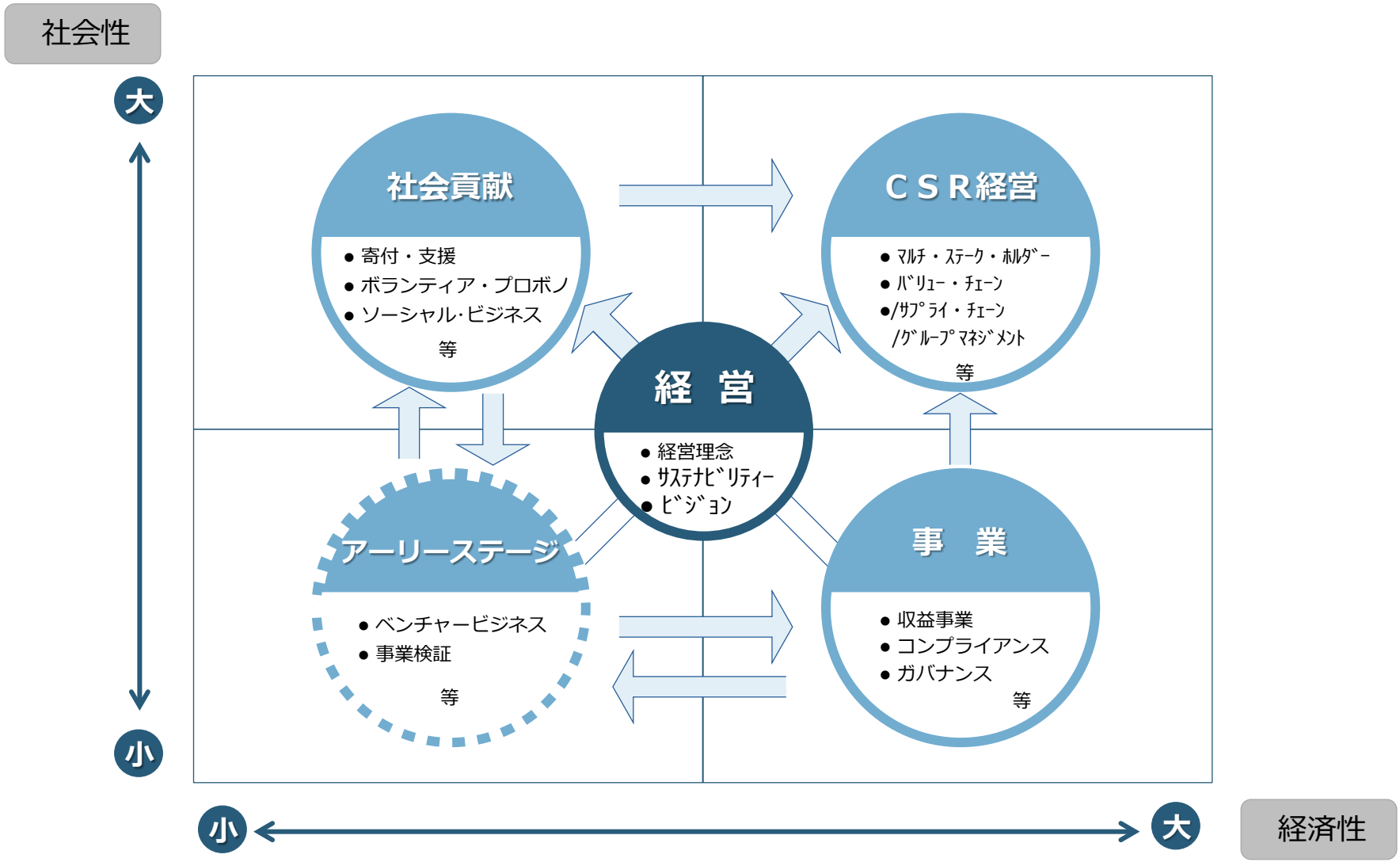
― SCM におけるガバナンスを幅広く
GCNJと他LNWに広める

① Team 12 SDGs 12

― 2020年 東京オリンピックをマイル･ポストに
Food Loss に取り組む

3.0.　企業経営とCSR
3.1.　収益志向の経営

3.0. 企業経営とCSR
3.2. ステークホルダーへの対応



3.0. 企業経営とCSR
3.3. CSR経営の広がり